

そうだ！伊島へ行こう

離島で過ごす最高の週末

紀伊水道にぽっかりと浮かぶ桃源郷、伊島。

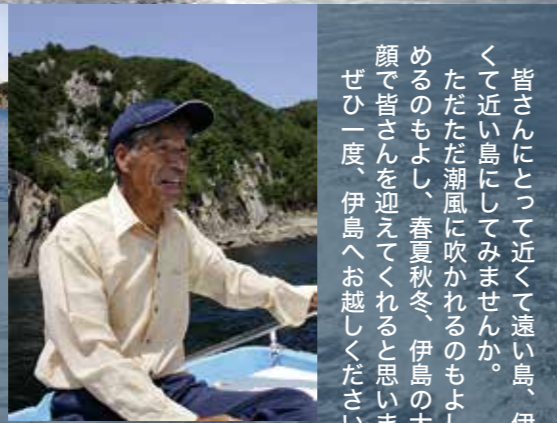
蒲生田岬の東方沖約6kmに位置し、伊島、前島、棚子島の3島からなる四国の最東端の島。黒潮の恵みを受けた温暖な気候は亜熱帯植物などの希少植物を育み、集落地を除く全域が室戸阿南海岸国立公園に指定されている。島の周囲は無数の荒磯からなり、イセエビやアワビなどの良好な漁場であるとともに、県下有数の磯釣り場にはグレやタイを狙って多くの釣り人が通う。可憐な花を咲かせるササユリを鑑賞しながら「西国三十三番ミニ霊場」を巡ったり、湾内を七色に染め上げる納涼花火大会を堪能したり…楽しみ方いっぱい。ちょっとの船旅で触れられる島の魅力を見つけに行こう。



伊島へのアクセス (答島港から出船/約30分)

	伊島発	答島発
1便	7:00	8:30
2便	10:00	12:30
3便	11~1月	14:45
	2・10月	15:15
	3~9月	16:00
	16:15	16:45
	16:00	17:15

運賃(片道) 大人1,020円 小人510円
 伊島連絡交通事業(☎33-1271)へ



伊島町会会長
 神野 範雄 さん (65歳)

漁師。平成24年6月に町会長に就任。民生委員も務める。

皆さんにとって近くて遠い島、伊島。今年は、近くて近い島にしてみませんか。ただただ潮風に吹かれるのもよし、夜空の星を眺めるのもよし、春夏秋冬、伊島の大自然がいろんな顔で皆さんを迎えてくれると思いますよ。ぜひ一度、伊島へお越しください。

- ①四国最東端 E134°49'25"
- ②伊島灯台 昭和31年に初点灯した白い角柱型灯台。高さ22m。
- ③のろし山 江戸末期、外国船が来たことを知らせる「のろし場」があった。
- ④カベヘラ 紀伊水道が一望できるビューポイント。崖下には大きな洞窟があり高さ30mの潮を噴き上げている。
- ⑤三昧六地藏 三昧の地藏堂の前で葬式が行われ、死者は境内の六地藏尊に導かれ極楽浄土へ行く信じられている。
- ⑥松林寺 本尊は一木造りの十一面観音(高さ70cm)。空也上人の作と伝えられている。
- ⑦可動式防波水門 港内に設置されたものとしては全国初。
- ⑧井才天 音楽や知恵の神であるが、伊島では漁業神として信仰があつい。
- ⑨湿地 かつて水田が開かれていたところで、希少昆虫の生息や水生植物が確認されており、環境省の「日本の重要湿地500」に選定されている。
- ⑩野尾辺の観音堂 平安の昔、空也上人が来島して堂を建立したと伝えられている松林寺の奥の院。本尊は十一面観音像。



集落

漁港周辺に約80世帯190人が暮らす



湿地

日本の重要湿地500に選定



カベヘラ

紀伊水道を一望できる

そうだ!伊島に行こう



釣人
山川和也さん(43歳・山口町)



秋

磯釣り

四国最東端に位置し、室戸阿南海岸国定公園の東端である伊島は、紀伊水道の黒潮の恵みを受け、徳島を代表する磯釣りエリアの一つである。磯の数が多いことから、釣り大会なども盛んに行われている。

釣れる魚種は四季を通じて豊富で、チヌ、グレ、イサギ、真鯛、青物など旬の魚を求めて多くの釣り人が訪れる。私もそのひとりだ。自宅から短時間で訪れることができるのも魅力のひとつとなつている。

自然の中で過ごす一日は、何事にも代えることのできない貴重な時間である。魚との一進一退の掛け引きはスリリングで、頭の中が真っ白になる。童心に返った気分でしたら釣りに没頭する。心身ともにリフレッシュでき、明日への活力にもつながる。この素晴らしい自然が未来永劫、多くの人に愛されるよう願わずにはいられない。

(文・山川さん)



- 渡船料 磯5,000円
- ① 棚橋金治郎 (住吉丸) ☎33-0788
 - ② 岡本 勝 (勝丸) ☎33-0797
 - ③ 岡本真二 (眞光丸) ☎33-0794
 - ④ 田村利主計 (光洋丸) ☎33-0802



5月頃に葉と花序を展開するヒメウラシマソウ。平均気温16度線の北限に位置する伊島では、貴重な亜熱帯植物が見られる。

春

ササユリ



河井雅子さん、開くん(津乃峰町)

四季を 楽しむ 伊島、いい島。

初夏の伊島、木々が作るトンネルをしばらく進むと、西国三十三番三ニ霊場に寄り添うように咲くササユリに会いえる。淡いピンクの可憐な花をつけ、ほのかに甘い香りを漂わせている。ここは、島の方たちの手入れが行き届いており、明るい林床を好むササユリの生育に適した環境が維持されている。ササユリは、島の暮らしとともにある。

ササユリは全国的に減少傾向にあり、徳島県でも絶滅危惧種に指定されているが、昆虫の力を借りて受粉するササユリにとつて、島の豊かな自然と多様な生物群は大きな味方だ。ササユリの清楚な姿に癒されるとともに、自然の豊かさ、人と花のつながりを感じることで、ハイキングに出掛けてみては。ササユリの見頃は6月上旬で、自生地までは片道30分、1時間ほど。森林浴で心も体もリフレッシュできる。(文・河井さん)



冬

初観音会

伊島の北東端、卒都婆崖に野尾辺の観音堂がある。島民はこれを「観音さん」と呼んでいる。お堂の開基は古く、平安の昔に空也上人が島の難民を救済するために上陸し、卒都婆崖にお堂を建て、十一面観音像を刻んで安置したことに始まるといわれている。訪ねる人はまれであるが、縁日の2月18日には人の山となる。島民は仕事を休み、学校も授業をやめて参拝する風習がある。今も昔も変わることなく、島民の生活の中に観音信仰が生き続けている。



新企画



伊島芸術祭「楽園」2014
期間 7月20日(日)~8月10日(日)
※くわしくは7月号でお知らせします。
〒伊島芸術祭実行委員会 (☎23-1424) へ

夏

納涼花火大会



毎年8月14日に開催されている納涼花火大会。これに合わせて帰省する人も多い。早打ちとスターマインをメインに、連続で打ち上げられる花火が湾内を七色に染め上げる。スケールの大きさと迫力ある臨場感は伊島ならではの。クルーザーで訪れる観光客も多い。